

令和5年度 授業改善推進プラン

【美術】

| 学年 | 現状の課題 | 指導の重点と改善策 ※求められる力【短期と中・長期】 |
|---------|--|---|
| 1 学年 | 定期考査の結果から、学習内容の定着に差があるのが課題である。 今後は、新たな知識の活用と応用の力が求められる。 | <p>【短期】 ポスターカラーの性質を学ぶ際、小学校で使用していた水彩絵の具と比べるなど、図画工作での知識の活用を促す。</p> <p>【中・長期】 知識として学んだものを応用できるようひもづけ、習熟度別指導も取り入れながら知識の定着を図る。</p> |
| 2 学年 | 定期考査の結果から、前年度で定着しているべき知識の正答率の低さが課題である。 今後は身につけた知識を応用する力、妥協せず作品制作をする力が求められる。 | <p>【短期】 前年度で学習しており、なおかつ今年度でも活用できる知識を定期考査で繰り返し問い、知識の定着を図る。</p> <p>【中・長期】 計画的に作業を進められるよう、計画シートを記入させる。要所ごとに身につけた知識をひもづけ、応用できる力を養う。</p> |
| 3 学年 | 定期考査の結果から、前年度で定着しているべき知識の正答率の低さが課題である。 今後は計画的に作業を進める力、身につけた知識を応用する力が求められる。 | <p>【短期】 前年度で学習しており、なおかつ今年度でも活用できる知識を定期考査で繰り返し問い、知識の定着を図る。</p> <p>【中・長期】 さまざまな美術作品を鑑賞し、豊かな感性を磨く。 既習の技法を応用できる課題を積極的に取り入れる。</p> |